

全国労災病院データからみた未破裂脳動脈瘤治療の在院日数の推移について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

脳動脈瘤破裂によるクモ膜下出血は働き盛り世代を襲い、医療が進歩した現在でもその社会的損失・経済的損失は計り知れません。日本脳ドック学会のガイドライン、日本脳卒中ガイドラインでは、サイズ、形状、部位などで破裂率が高いと推定される未破裂脳動脈瘤については治療を含めた慎重な検討が必要であると警鐘を鳴らしています。未破裂脳動脈瘤の治療は壮年期世代が対象になることが多いため、治療後早期の社会復帰がその要件となります。そのため、従来から行われている開頭クリッピング術においては手術の低侵襲化が進み、近年ではコイル塞栓術(カテーテル手術)の割合が増加し、在院日数を減じるための様々な試みが行われています。今回我々は、未破裂脳動脈瘤治療の在院日数の推移とそれに影響を与える因子について研究いたします。

【対象】

1984 年度から 2021 年度までの 38 年間の全入院患者データの中から、開頭クリッピング術あるいはコイル塞栓術を行った未破裂脳動脈瘤治療例を対象とします。

【調査項目】

調査項目は、データベースから入手できる、性別、退院時年齢、在院日数、手術後入院日数、確定診断名、手術名、退院時転帰、脳動脈瘤局在、手術術式とし、集計、調査いたします。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】

令和4年4月1日から令和6年3月31日まで(調査状況により調査期間を延長する可

能性があります)

【研究機関・組織】

関西労災病院 脳神経外科

【研究代表者】

豊田真吾

関西労災病院 脳神経外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221(代表)

FAX: 06-6419-1870(代表)

【研究事務局】

関西労災病院 脳神経外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221(代表)

FAX: 06-6419-1870(代表)

【研究責任者】

豊田真吾

関西労災病院 脳神経外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221(代表)

FAX: 06-6419-1870(代表)